

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	かもめハウス【児童発達支援】		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日	~	2025年 3月 20日
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	11	(回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日	~	2025年 3月 20日
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	大人も子供も楽しめる支援を心掛けています。 児童一人一人に丁寧に寄り添い、それぞれの得意なこと、興味のあることを把握し、全体の支援につなげています。	楽しいプログラムや遊びの中からスタッフが適切なタイミングで適切な単語で声掛けを行います。そうすることで楽しみながら状況把握や適切な発言をスマールステップで習得していくことができるよう、努めています。 またアナログ的な物や発想を大切にし、できるだけ手作りにこだわって創作活動や食育に取り組んでいます。	スーパーバイザーによる研修や巡回、フィードバックなどを実施し、声掛けのタイミングや、声掛けの内容など、子ども成長に、より直結するようにクオリティの向上を図ります。
2	保護者様に安心して預けていただけるよう、ご本人は当然のことと、ご家族の方針なども十分に理解することを心掛け、情報共有ツールなどを通じてお子さまの成長や活動の様子をできるだけ早く共有します。	経験のある児童指導員、保育士のみならず、臨床心理士、公認心理師、栄養士など様々なスキルを持った職員が在籍しており、定期的な面談はもとより、親子参加型のイベントや、保護者会などを通じて、多面的な支援を心掛けています。	これまで以上に気軽に面談や相談にお越しいただけるよう、スタッフの資格やスキルを整えて参ります。
3	野菜の収穫体験や、ドッグセラピー、アート、音楽などの保護者と一緒に参加できるイベントを通じて、興味の幅を広げ、人生の選択肢をできるだけたくさん持つことができるよう努めています。 またそれらの活動はできるだけ本物にこだわって、用意できる最高の環境を提供できるよう努力しております。	お祭りイベントを実施しており、活動を通じて近隣住民の方や、近隣の学童施設などの交流を図れるよう努めています。 また、予想外の事態や不確定要素への対策の一環として、畑での農作業や収穫体験での成功や失敗などを通じて許容範囲を広げができるよう努めています。	農作業の支援プログラムへの落とし込みは、これから具体的に検討する段階で、今後具体的な作業項目やスケジュールの策定が必要となると考えています。 今後も様々なアプローチを継続し、余暇活動の充実とともに子供たちの興味の幅を広げられるよう、取り組んで参ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員のスキルに差があり、集合研修の内容の策定が難しい。	前職での経験や資格などによって、スキルに差が生じている。	分科会などを検討し、スキルレベルの応じた研修方法を検討していく。 スキルのある職員をリーダー的な立ち位置にし、職員間でスキルの差を埋められるような体制を検討する。
2	デジタルデバイスなどをITを活用した支援プログラムや活動（プログラミングなど）	アナログ的要素を軸にしつつも、必要に応じて対応したいと考えているが、職員のスキルが対応できていない。	STEAM教育への取組みを検討すべく、外部スタッフの専門家と企画検討を進める。
3			